

令和3年度第1回山口市子ども・子育て会議（書面会議）
御意見及びこれに対する市の考え方

委員の皆様から提出された御意見及びこれに対する市の考え方は、以下のとおりです。

1 「山口市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について

	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>保育の場の確保に尽力されていることは窺えましたが、現場は非常に大変だと思いますので、保育士の方々や放課後児童クラブのスタッフの方々のご負担が今以上増えないよう、人員の増員等の環境整備をお願いします。</p>	<p>【こども未来課・保育幼稚園課】 《こども未来課》 放課後児童クラブの入級者は、共働き家庭の増加を背景とし、年々増加傾向にあります。今後も支援員の募集を図りますとともに、処遇改善等の賃金面での取り組みも継続して実施してまいります。 《保育幼稚園課》 保育士確保は全国的にも困難な課題となっていることから、業務のICT化や子育て支援員の雇用など、保育士の負担軽減につながる対策を講じるとともに、引き続き、潜在保育士の掘り起こしなどに取り組んでまいりたいと考えています。</p>
2	<p>(P1ならびにP11 関連) 保育施設ならびに放課後児童クラブにおいては、共に定員拡大にもかかわらず、それを上回る申込者数により、待機児童が発生している状況にあるようです。 「今後のニーズ等を考慮しながら、待機児童の解消に取り組む」とのことですが、各保育事業者との調整を加速させ、できるだけ早期の待機児童解消に努めていただくことを望みます。</p>	<p>【こども未来課・保育幼稚園課】 《こども未来課》 待機児童につきましては、共働き家庭の増加等を背景とし、年々増加傾向にあります。待機児童が見込まれる小学校区を対象に、学級の新築や増設等を図りながら、待機児童の解消を進めてまいります。 《保育幼稚園課》 待機児童が発生している区域においては、1・2歳児に不足が生じている状況であり、令和4、5年度については、1・2歳児の定員増を含む保育施設の増改築を推進するとともに、幼稚園の認定こども園への移行を推進し、引き続き、保育提供体制の確保に努めてまいります。 また、各保育事業者における運営方針等にも配慮しながら、待機児童解消に向け、可能な限り早急に調整していきたいと考えています。</p>

	意見	意見に対する市の考え方
3	<p>(P24 関連)</p> <p>令和2年度実績の時点で、保育士の確保数が目標値に対し3名の不足が見られている現状については、できるだけ速やかに目標値に到達することを望みます。</p> <p>また、こうした人材の確保の手立ての一つとして、保育士の処遇改善が必要であると思われませんが、「質の高い保育の安定的な提供を図ることを目的」とした保育士処遇改善が、一人あたり年間2.3万円であることに不足を感じます。</p> <p>処遇改善がなされていることは評価しますし、財源が限られていることとは思いますが、保育士の人材確保は非常に重要な課題であると思われまますので、こうした処遇改善が今後より拡充されることを望みます。</p>	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>保育士確保に向けては、引き続き力を入れて取組を進めてまいります。</p> <p>保育士の処遇改善への取組といたしましては、平成27年度から本市独自の事業を実施しており、その後、国による処遇改善（※内、1/4は市が負担）が段階的に実施される中、市では独自事業を、減額しながらではありますが、継続してきたところです。</p> <p>なお、この度の国による、保育士等に対する3%程度（月額9千円）の処遇改善が令和4年2月分給与から実施されることにより、本市独自の処遇改善による嵩上げと同等以上となりますことから、単市の取組は令和3年度末で実質的に廃止となります。</p>
4	<p>資料1 (P11) 放課後児童クラブの「提供料の不足」147とありますが、これは中心地域なのか周辺地域なのか、要因はハード面か担い手確保の問題なのか読み取れません。このままでは、次なるニーズ対応（夕刻の保育時間延長など）が見過ごされるのではありませんか。</p> <p>支援計画の数値は、多少のゆとりを持たせた数値設定が望ましいと思います。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>今後は、数値の分析内容等を、表下段の【数値の分析内容と今後の取り組み】に記載してまいります。</p>
5	<p>1歳児に待機児童が多いのは、育休明けに仕事復帰する女性と受け入れ側（保育園など）とのミスマッチだと思われます。しかし、本当に1年間の育休期間で復帰を望んでいるのが本心なのか、企業などの受け入れ体制が整っていないからやむを得ず1年で復帰せざるをえないのか、広い視野で各方面と連携して調査してみると1歳児の待機児童の減少にもつながる事もあるかもしれません。</p>	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>本市における待機児童解消に向けては、発生している区域・年齢に応じた定員増により引き続き取り組んでまいります。</p> <p>御意見にございます保育ニーズにおける真意や背景、また待機児童が発生する原因等については、国・県が実施されている調査結果等を活用しながら、社会的要因なども考慮し検討していく必要があると考えます。</p>
6	<p>未就学児や年少児童への支援状況は概ね解消されているが、放課後児童クラブにおける令和2、3年の数値を見ると、高学年への支援が必要だと感じた。山口市においては児童館のように、家の近くにあって放課後に子どもが安心して遊べる場が少ないように思われる。経済的支援はもちろん大切だが、個人では解決できないハードの支援も考えていただきたい。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>児童の放課後の居場所として、放課後児童クラブや児童館、プレーパークといった「地域での居場所」と、放課後子ども教室といった「学校での居場所」がありますが、山口市における居場所としてどのような方法があるのか、次期計画策定に向けて考えてまいります。</p>

	意見	意見に対する市の考え方
7	<p>量の見込みと確保の状況について、おおむね充足とのことですが、一部年齢で待機児童が発生するなどニーズと供給のミスマッチがあり、引き続き、状況の改善に向けて対策をお願いします。</p> <p>また、子育て関係の講演を聞く中で、東京圏では多くの保育園、幼稚園で「おんぶ、抱っこ禁止」といった40年前に流行した指導が未だに行われていると聞き衝撃を受けました。今後は「量」の面だけでなく幼稚園教諭、保育士等の皆さんの研修や待遇改善など「質」の問題にも着目する必要があると感じました。「質」に関する指標の設定などが課題となると考えます。</p> <p>なお、「質」の確保のためにも市立幼稚園の役割が大きいと感じています。市民のニーズに合わせた募集年齢の引き下げ等の対策が取られるよう希望します。</p>	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>待機児童が発生している区域においては、1・2歳児に不足が生じている状況であり、令和4、5年度については、1・2歳児の定員増を含む保育施設の増改築を推進することで、需要と供給のミスマッチの解消に努めるとともに、状況改善に向け、課題整理を行うなど引き続き取り組んでまいります。</p> <p>保育の質について指標を設定することは困難であると考えますが、これまで同様、市や各施設における専門研修等を継続していきたいと考えます。</p> <p>なお、市立幼稚園の役割等については、令和7年度からの第三期山口市子ども・子育て支援事業計画に反映できるよう、(仮称)山口市幼児教育・保育サービス検討懇話会を令和4年度に設置し、本市全体の幼児教育・保育サービスの形態と併せて検討していきたいと考えています。</p>

2 山口市子どもの貧困対策計画(案)について

	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>子ども食堂は「いつ」「どこで」行われているのか。約2割の人が知らなかったとは何故か知りたい。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>本市は、市内のNPO法人と社会福祉法人に事業委託をしております。</p> <p>市内5箇所(湯田、平川、大内、宮野、小郡)で週1回程度、無料学習会と食事会を実施し、市内北部(湯田)と南部(小郡)の2箇所で週1回程度、子どもの居場所づくり(食事会)を開催しております。</p> <p>子ども食堂を「知らなかった」とする理由については分析できておりませんが、今後も委託先と連携しながら、より多くの方に子ども食堂を知ってもらうよう、広報をしてまいりたいと考えております。</p>
2	<p>行政だけでは対処が難しいと思いますので、こども明日花プロジェクトや、Style等のNPO、民間活動団体との連携をさらに強化していただきたいと思います。</p> <p>コロナの影響で、子ども食堂が開きにくい状況にあることも気になっています。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>施策の方向性において、早期発見のための取組として「連携、協力による支援」を位置づけたところがございます。</p> <p>今後も、関係機関と連携を図りながら、進めてまいりたいと考えております。</p>

	意見	意見に対する市の考え方
3	資料2 (P15・16) から、支援が必要な子ども及び家庭に、必要な公的支援制度が行き届くように配慮して、対策を推進する必要があります。いざという時には適切な相談が受けられるよう、公的相談機関の周知や利用しやすい環境づくりが求められます。支援を要する家庭に必要な情報が伝わる仕組みづくりの強化整備が必要と思います。	【こども未来課】 基本方針③におきまして、「連携、協力による支援」を位置づけ、関係機関との連携、協力や、各種制度や施策の周知といった取り組みを図ることとしております。
4	アンケート結果から見ても、今の行政が行っているサポートや受皿が届けたいところに届いていないようなもどかしさを感じます。どうすれば困っている人にピンポイントで届ける事ができるのか一歩先を考えていきたいです。	【こども未来課】 「早期発見のための取組」は、子どもの貧困対策の推進を図る上で、必要なことと考えております。関係機関との連携、協力を図り、各種支援への取り組みを進めてまいりたいと考えております。
5	各家庭の経済状況の安定には、海外での取り組みでも見られる「所得保証」が必要で、山口市内の中小企業への賃上げの環境を整備する、女性の正規雇用の促進、子育て制度の利用の促進（特に男性へ）などにより補助を必要としない家庭を増やすための働きかけも必要なのではないか。	【こども未来課】 御意見ありがとうございます。 施策を進める際の参考にさせていただきます。
6	施策体系について、早期発見の取組が位置づけられたことを評価します。他の支援策とあわせて充実した組織体制となるよう希望します。	【こども未来課】 御意見ありがとうございます。 すべての子どもが、夢と希望をもって成長していけるよう、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。
7	P20 5. 早期発見のための取組みの中に紙オムツの自宅へのお届けができたなら赤ちゃんのオムツのサイズで成長具合がわかったり、訪問先の家の様子がわかったり、会話が生まれやすく、信頼関係につながっていくと思います。	【子育て保健課】 生後4か月までの乳児がいる家庭を、保健師、助産師が訪問する乳児家庭全戸訪問事業に取り組んでいます。訪問では乳児の成長発達を確認するとともに、母の育児不安や悩みに対して相談支援を行っています。

3 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>自分が子育てする時代にはなかった制度ですので、1号認定、2号認定の数だけ見ても、何を以て良しとすればよいのか、正直つかみにくいのですが…。湯田こども園が認定こども園への移行を取り下げられた理由が知りたいと思いました。</p>	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>湯田幼稚園については、現園舎が耐震基準を満たしておらず、耐震工事を行うことが財政的に難しいことから、認定こども園への移行を取り下げられるとともに、令和5年度末での廃園の意向を示されました。</p> <p>また、湯田幼稚園廃園に伴う在園児の受け皿として、湯田幼稚園と同じ学校法人明和学園が運営されている菅内幼稚園へ、希望者の転園手続を御案内されているところです。</p>

3 その他

	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>新聞等でも多く取り上げられているヤングケアラーについても。山口市における実態調査をしていただけたらと思います。</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>国において調査を行っておりますので、その結果を踏まえまして、市として検討してまいりたいと考えます。</p>
2	<p>放課後児童クラブで支援員をしております。年々ニーズが高まり支援員の確保等苦慮している所です。社会情勢も年々変り、働く女性（男性も）が育児と両立できるように少しでも役に立ちたいと思って日々保護者、子ども達と接しています。こども未来課の方々にはいつも頭が下がります。待機児童も新設、増設と心配り大変と思います。資料を拝見させていただき、施策の方向性の「基本目標」に向けてがんばりたいと思います。地元に残りここ山口市で夢持てる様子子ども達の未来のために！！と、資料を拝見させていただき思いました。</p>	<p>【こども未来課】</p> <p>御意見ありがとうございます。</p> <p>今後も引き続き、目標実現に向けて取り組んでまいりますので、本市の施策に御理解、御協力いただきますよう、よろしく願いいたします。</p>
3	<p>子育て支援者の教育もしっかり行うべきだと考えます。最新の育児についての情報、ジェンダーの知識などをほとんど持たない支援者を支援施設や母子推進委員の方などで多く目にすると、やはり地方では意識が低いのだろうか残念な思いになる。子育て支援員研修についても、見直しを適宜行い意味のある研修を行っていただきたい。</p>	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>子育て支援員研修は県が主催しており、毎年度、山口市の保育施設等の職員が受講しているところです。</p> <p>保育園や地域子育て支援拠点施設など各分野に応じて、基礎的・専門的な知識や技術・倫理等を習得できる研修内容となっておりますので、より一層の受講を促していきたいと考えています。</p>